



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：「ガス版 OPEC 設立構想」に関するエネルギー工業相の発言（2月6日付現地各紙）

2月5日、アティーヤ第二副首相兼エネルギー工業相が「ガス産出国による OPEC のような新組織の設置構想」に反対を表明した。

1. 「アブダビ経済フォーラム」に出席していたアティーヤ第二副首相兼エネルギー工業相の記者会見での発言：
 - (1) （ロシア、イランが提案している「ガス版 OPEC 設立構想」に関し）ガスは長期契約に基づいて供給しているものであり、OPEC のような組織の設立は極めて難しい。
 - (2) 昨年 11 月、12 月に続く 3 回目の原油生産削減計画を検討するのは時期尚早である。
2. 世界最大のガス埋蔵量をもつロシアのプーチン大統領は、ガス生産国による OPEC のような新組織を設立し、世界のガス政策に影響を与える構想を持っているが、カタールを説得できなければ、その構想は失敗に終わるだろう。
3. カタールは現在 2600 万トンの LNG を生産し、米国、欧州、アジアの市場へ供給しており、2012 年までに 7700 万トンまで増産する計画をもっている。2009 年までの「モラトリアム期間（新規契約凍結期間）」中の新規ガス供給契約（UAE からの引き取り要請を含む）には応じられないが、これを延長するかどうか未だ決定していない。
4. ドルフィンプロジェクト（総工費 35 億ドル、UAE の発電所、アルミニウム精錬所、一般家庭向けのガス需要に対し、ノースフィールド・ガス田からパイプラインでガスを供給するプロジェクト）で、カタールは 20 億 cfpd を供給する。他方、UAE からは 12 億 cfpd を追加供給してほしいとの強い要請がある。
5. この 30 年間、インドネシアが世界最大の LNG 輸出国であったが、2006 年カタールが世界最大の LNG 輸出国となった。又、カタールはこの 4 月に GECF (Gas Exporting Country Forum) を開催する。GECF は 2001 年に設立され、参加国はアルジェリア、ボリビア、ブルネイ、エジプト、インドネシア、イラン、リビア、マレーシア、オマーン、カタール、ロシア、トリニダード・トバゴ、UAE、ベネズエラ、ノルウェー（オブザーバー参加）。このグループで世界生産量の 40%、世界埋蔵量の 70%を占める。